



魔法少女になりましょっ
おっさん

女の尻は父嫌なっ

悪の科学者

魔法少女 に 転職します!!

原作 椎平蛙
漫画 羅ぶい
企画 あむあいおかし製作所



魔法辞典の完成まで
あと少しなのに……
何が足りない……？



くっ目が見えない……
何が起こっている!?

で知りたい
ですか？!

なんだっ……
かっ身体が!?

は……

は……

は……







我が名は
グリモワール
魔法辞典！

我が創造主の幸福のため
魔法の世界より
馳せ参じましたっ！



馳せ参じました
じゃな〜い！

あれえ！?



どうするんだこの身体っ！
元に戻るのか!?

ええっ 元に戻りたいんですかっ！
どうしよう焦っちゃったあ！

ととと とりあえず落ち着け
グリモワール

説明をしてくれ

はま...



こんなところ
逃げちゃいましょう！



つまり簡単です！
私はお父さんを
幸せにするために
逃げやすい身体に
変えたんです！

逃げやすいように
と言ってもだな……

だってお父さん
生き辛そうなんですもの
魔法の世界の方が
楽しいですよ！



いやダメだ！

どうしてえ……

まだ納期がある！

お父さんそれって
洗脳ですよお！

うおおっ!?



もーっお父さんは
ホントは強くて賢くて
すっごい素敵なのに
こんなブラック企業に
勤めたばかりに……

許さないっ！

カッ
カッ
カッ



こらっ
開けなさい！

私がお父さんを完璧で
幸せな魔法少女にします！

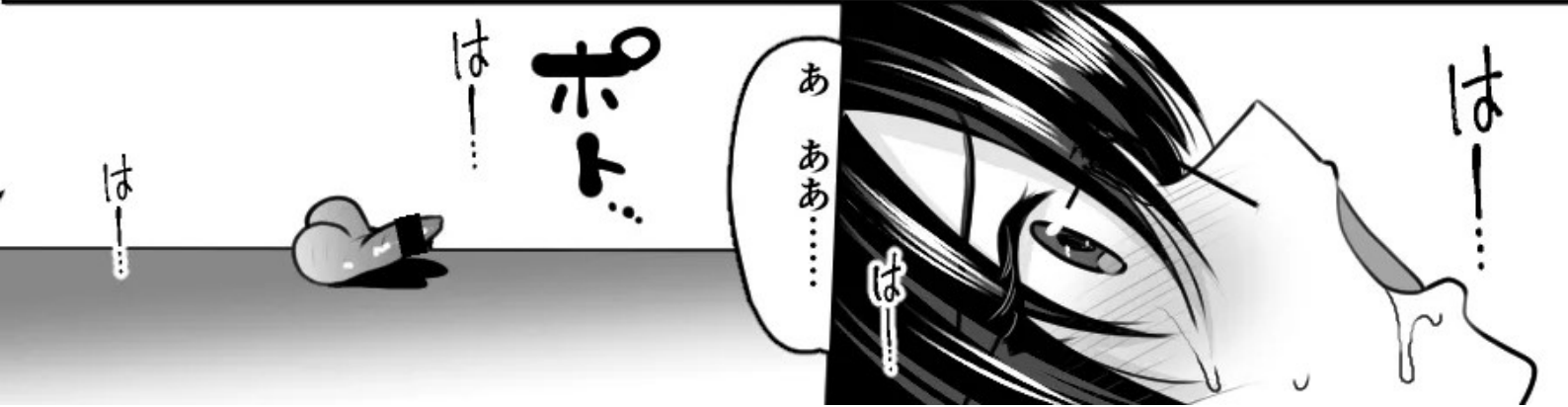
魔法少女になくてもよくない！
魔法博士でもいいんだぞ！

ダメです！大人の姿だと
お酒とか一発芸とか
無茶ぶりされますから！



そい一体どこで
そんな知識を……

うぐうっ！?





ううん 大丈夫
これから私がお父さんを
守るんですから
へっちゃらです



あ 危ないっ

あっ!?
うわっ!
あ



……っ
すまない ああ



うおおっ!?



いやいやいや
元に戻してくれないか!?

ダメですってば!
往生際が悪いですよっ!





こいつは本気で私を助けようとしているのか……

ほんとの女の子になっちゃいましたねお父さん……？

んんんんん

お父さん

お父さん

お父さん

あ……

いやしかし

お父さん……

んっ……



当然だっ……
彼女たちの魔法の力を
研究して……
たおすっ

ふふふっ
私は知ってますよ……
お父さんあの子たちを
ずっと見てたでしょう



違いますよね？
あの子たちから
魔法の力を奪って
おうちに返そうと
したんでしょう？



温かいご飯
優しいおうち
女の子同士の
楽しいこと……

そういうの
させたかったし
でしたかっ
ですよ？

ああっ
んあ ちがうっ

あっ そんな
つよっ
くうう……！



あ
あ
あっ
あ……

あああっ！！

はあ…
…あ…

ふふふ
お父さん女の子の
イキかたしちやつたね…

あ…

はあ

はあ

はあ

はあ

どうしますか？
お父さんがいいって
言うなら私は正式に契約します

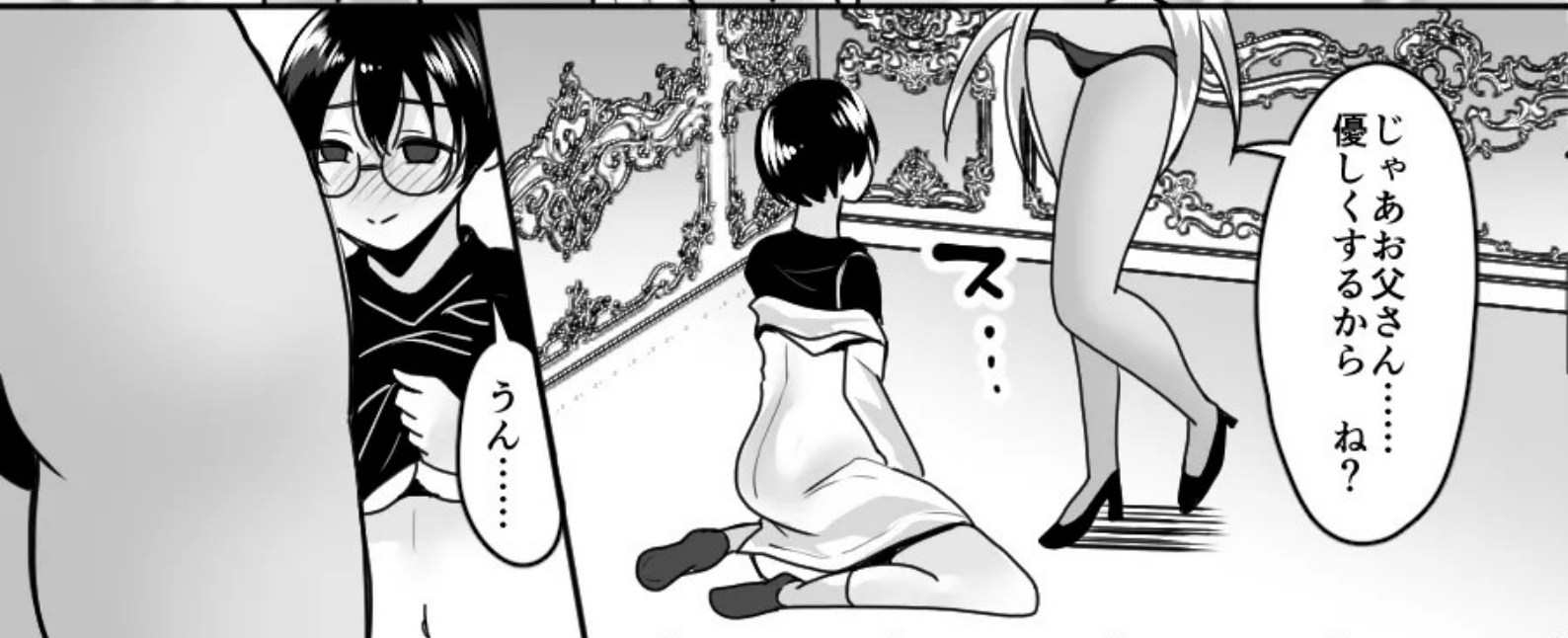
お父さんをとびつきり
可愛い女の子にして
最強の魔法少女にします

はあ

私の全部を
お父さんにあげます

はあ







欲情してるんだ……

ああ……

ハッ……

は……
トク……



イチ……って
呼んでほしい

……んんっ

とか
ダメ?

お父さんじゃなくて……
愛称で呼んでほしい……

ああの
グリモワール……

何ですか?

はッ
ヒキ

ヒキ



ちゃんは要らな……

分かりました……
イチちゃん
挿れますね……!

っ
ああんっ
……!



んくうっ……

ふうっ
うふうっ
はい
った……あ

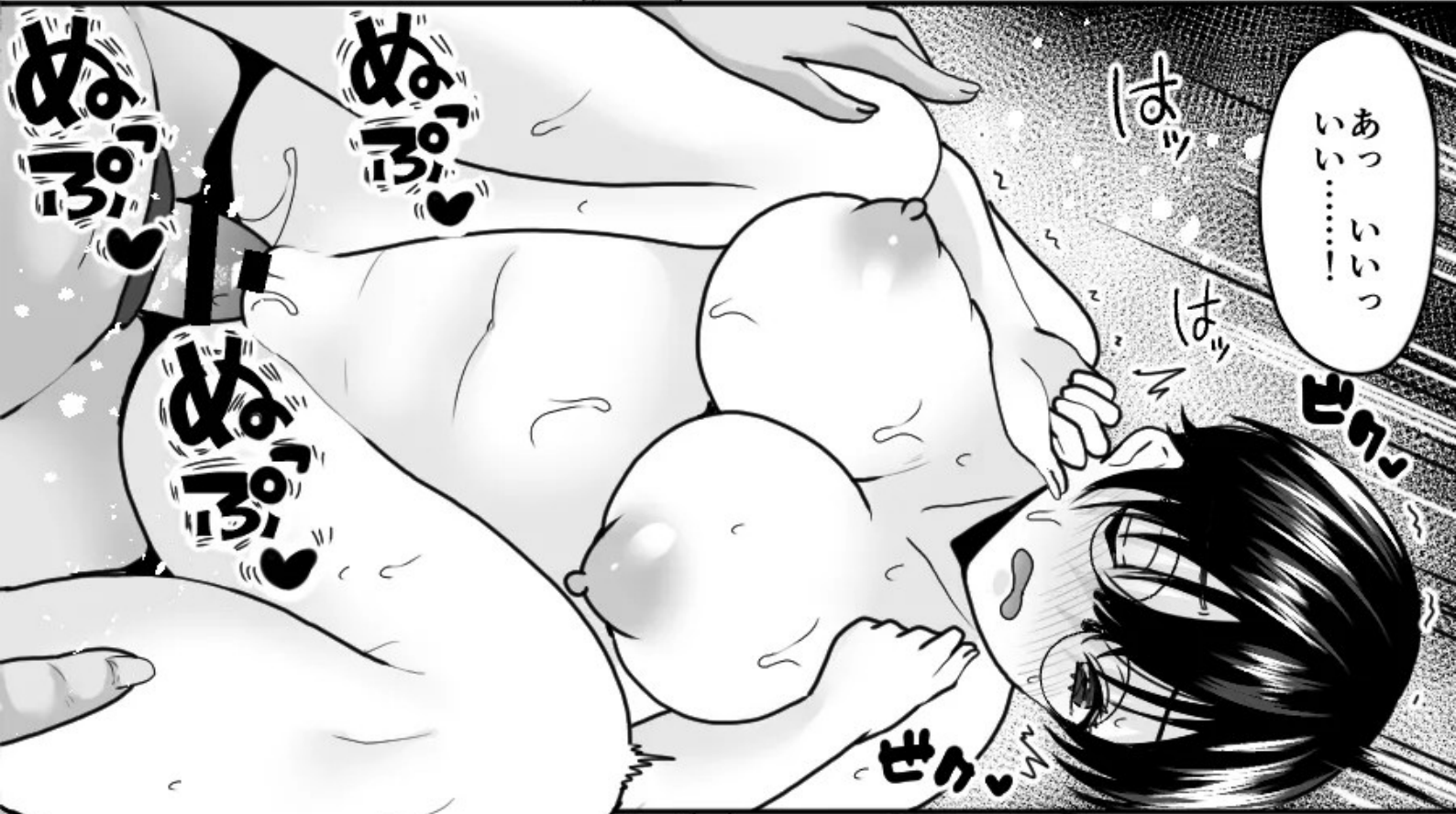
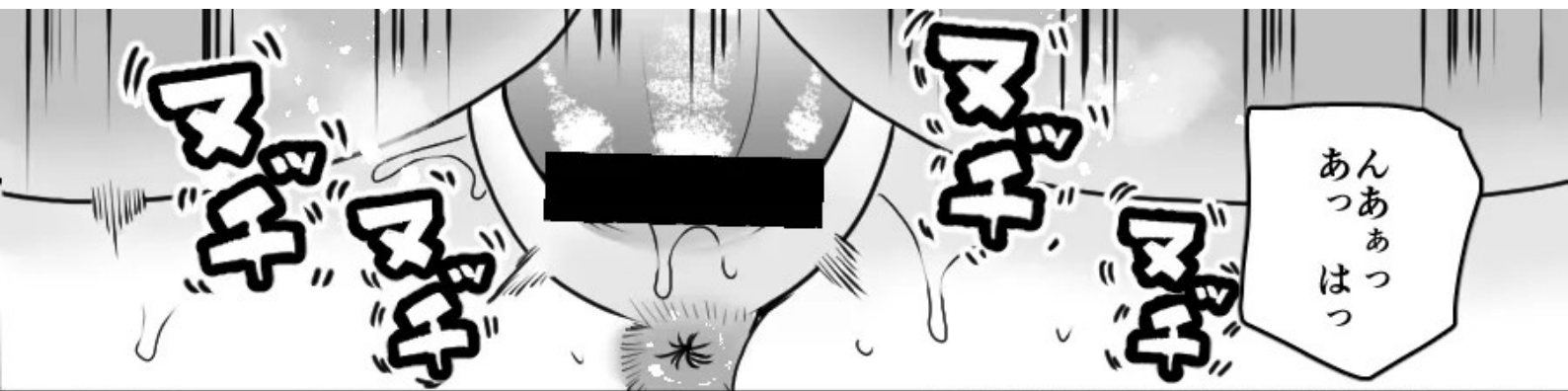
グキョッ
はあ

イチちゃん
ゆっくり息を吸って……
動かしますね……

ん
うっ……ふっ
……んっ
あ……あっ……

はあ
トク……







んおおおっ!
あっ...ああっ!
お.....!

はッ

はッ

はッ

はッ

こんなのっ
ごどもできちやうっ!

あああッ

んっちやう

はッ

はッ

はッ



私の私だけの
主になってくださいっ

イチちゃん……っ！

はッ

カッ

カッ

はッ



なるうっ！
ぐりもわる
じゃないとやだあっ！

あぁ
くろくろ

はッ

はッ

はッ

はッ

はッ

はッ

はッ



いつちやう
いつ……
あああああっ——!

はっ
あ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

さてここからは
後日談である

突如として
『ドクター』が
失踪した
という情報は
魔法少女たちにも
届くこととなった

めいめいの杖や
小さな獣たちと
暮らしていた
彼女たちも

それなりに
心配していた
のである

そんな
ある日のこと

いつも通り悪の組織の怪人に
立ち塞がった魔法少女たちは
見知らぬ魔法少女に出
会うことになる

さあ 怪人を吹っ飛ばして
魔法少女たちを
家に帰しちゃいましょう

準備はいいですか
イチちゃん

うん 『わたし』は
大丈夫……



黒いショートカットの髪に
誰より愛らしい魔法少女の
コスチュームを纏い
どこか艶のある微笑みを
浮かべる少女だったという

その手には誰も
知らない書物があり
誰も知らない魔法が
たくさん詰まっていたという

それじゃあ
はじめちゃうね？

人はそれを追加戦士と
呼ぶのであるが
それはまた別の話

